

国際マクロ経済学A		講義	教授 星野 為國
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目	科目ナンバリング	23200205

1. 授業のねらい・概要

この講義は、受講生にオープン・エコノミーのマクロ経済学を理解するために必要な基礎的な概念と基礎的な理論を説明することをねらいとするものである。オープン・エコノミーのマクロ経済学の歴史を教材の世界でその展開の過程を追ってみると、伝統的な IS-LM モデルから異時点間のマクロモデルへという大きな理論的変化が見られる。

本講義の中心テーマは、日本経済のマクロ経済循環の把握と、蓄積・投資バランス、経済収支および為替レートの相互関係を分析するための理論的な枠組みの説明に力点が置かれている。

本講義の構成もこの流れをある程度反映したものになっている。そして、この授業は、マクロ経済学の基本的なロジックを重視するという視点で、説明にもできるだけこのことを心がけるよう配慮した面もある。

2. 授業の進め方

主として、教材に基づいて講義形式で進める。授業中教材にないテーマは、その都度補って行く。可能な限り、シラバスに従って授業を行うように努める。受講生からの質問は、随時回答するつもりである。受講生が授業内容を十分理解しているか否かを確認するために受講生に質問するケースもある。

3. 授業計画

1. 世界経済とマクロ経済学	9. 生産の測定
2. 主要なマクロ経済問題	10. インフレーションの測定
3. マクロ経済学とは	11. 失業の測定
4. マクロ経済学の課題と方法	12. 対外経済活動の測定
5. マクロ経済学における目標と手段	13. マクロ経済循環の捉え方
6. マクロ経済学のデータ	14. 期首ストック
7. フローとストック	15. 期末ストック
8. 名目と実質	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

30 分以上の予習と 1 時間以上の復習を必ずすること。指示された参考文献をよく読むこと。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

研究室において、各受講生に個人的に対応する。

6. 授業における学修の到達目標

解放経済における諸問題を理解できるようになること。

7. 成績評価の方法・基準

レポート等を総合的に判断して、成績の評価を行う。100 点～80 点が A, 79 点～70 点が B, 69 点～60 点が C を合格とし、59 点以下を D とし不合格となる。出席回数が講義全体の 2/3 以上であることを要求する。

8. テキスト・参考文献

<テキスト>ノートをとってもらう。テキストを使用しない。

<参考文献>講義中に適時指示する。

9. 受講上の留意事項

履修条件は特にないが，平素世界の経済の動きに注目し，関心を持って欲しい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。